



認定特定非営利活動法人(認定NPO)

インド福祉村協会

会報

2009.5.1

Vol.17

India Welfare Village Society News

ホームページ <http://iwvs.web.infoseek.co.jp/> (ボランティア 募集中)
特定寄付金に税制上の優遇措置が認可

公衆衛生教育と人材育成はじまる JICA計画：JPP特集3

■JPP事業2年目成果

(2009年3月末現在)

保健衛生教室参加者……………婦人、1404名 妊婦、312名
小学校衛生教室……………20校、3533名
頭 ジラミ治療希望者……………304名中254名治療

■JPPインドスタッフ 日本研修報告

第2回(平成20年8月31日から9月6日)

Ram Prasad Singh(会計士)、
Narendra Singh Ranaut(調整員)

第3回(平成21年3月31日から4月5日)

Satish Kumar(薬品助手)、
Vikrama Dwivedi(受付助手)

プロジェクトマネジャー 加藤 伸也 レポート

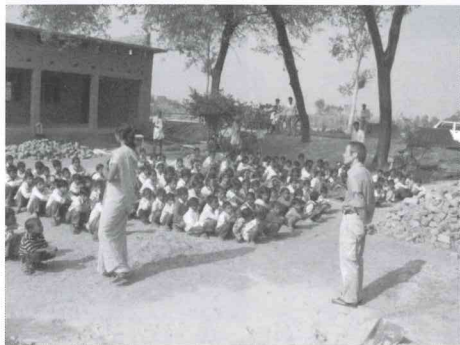
2008年11月21日(金)
学校衛生教育の訪問記 アニマントル学校とテルタラージナガル学校

「アニマントル学校」……約110人の生徒



教師は3人と少なく、話をしている所は古い校舎で教室としては使っていない様です。村の集落の一角にあり、運動場もないようでした。銅鑼で叩いて生徒を呼んでいました。昼時の食事でみんな家に行っていたようです。

「テルタラージナガル学校」……私立学校で生徒数約280人。教師は5人。



この学校は同じくシナガルで教育関係の活動をしているNGO「マイトリーの会」が建てたものです。後ろの校舎は今、建て替えをしている最中でした。建築中の校舎から撮ったのが下の写真です。写真の校舎の左隅が職員室でした。

生徒は緑色のズボン、スカートをはいていました。公立と私立の区別をしているのでしょうか。

帰るまでに少し時間があったので、教室に入りました。子供が仕草で前に立つように言うので、教師の椅子の前に立つたら、全員一斉に立って迎えてくれました。「ナマス

テ」と挨拶し、「バイト(座って)」と言ったら通じました。こんな単純な言葉でも通じてくれるのは大変うれしく思いました。地理の教科書を開いていたので、見たら世界地図があったので、ここが「ジャパン」と言って教えました。うんうんと頷いていたのでマイトリーの会が教えていたのかな。



11月28日(金)

そう言えば。活動地域を紹介していません。
四大聖地、ブッタ入滅の地(クシナガル)の紹介です。

アーナンダ病院は
クシナガルの近郊にあります。



▲涅槃堂

左右にある木が「沙羅」。双樹で植えています。涅槃堂には良く知られるブッタの寝姿像があります。



◀ブッタが最後に説法した場所とされています。建物内には掘り出されたブッタの像が祀られています。

右の写真▶

ブッタを火葬した場所です。レンガ積みで作っています。中にはブッタの遺骨があると言われています。



1月30日(金)～2月3日(火)
日本からインドの児童体側 継続調査で来院



(妊婦学校)



(学校)

すでに6年ほど前から継続的に指定校の30～40人児童の「身長、体重、胸囲」をしているチームが来院しました。芝山、仲井さんの二人です。

予約した国内飛行機が霧で飛べず、急遽列車に変更しました。真夜中3時に起きて迎えるに行きました。列車は遅れ6時少し前に着きました。

金曜は「妊婦学校」、「学校衛生教育」の日です。早速参加してもらいました。

31日から調査開始です。が、が、なんと目的校はヒンディ神のお祭りとかで休校です。校長は会議で不在。やむなく、私立学校があったので駆け込み交渉し、快く体側調査の協力を得ました。でも、お祭り行事をしているので終わるまでお預けです。

冬なので厚着しているので胸囲は困難です。女の子は人前ではセーターも脱ぎません。児童は初めての経験なのですぐ際まで来て見えます。先生は懸命に追い払っています。

協力してくれた児童にはポラロイド写真を上げたので大喜び。

子供はみんなシャイでした。写真の前ではニコッともしません。

(続く)



(準備)



(身長)



(頭囲)



(胸囲)



(測定開始前に歓迎の歌を歌ってくれました。)

JPP事業 アーナンダ病院訪問

飯塚裕貴子(JICAインド事務所NGOデスク)

'09年3月25日よりクシナガル事業地へ訪問させていただきました。

ずいぶんご苦労されてこままでの病院・活動を支えてこられただろう、と思わずにはいられません。グプタドクターの熱意には頭が下がりますが、スタッフと良好な関係を築いている加藤さんの存在も重要なものと感じられました。

今回の訪問において一番感銘を受けたのは、疲労のために倒れた加藤氏を懸命に看病し常に気遣う医師・ドライバーさん・お掃除人・コックさんの全現地スタッフのホスピタリティ精神である。彼らがこれまで草の根の病院活動を支えてきたことに感謝しないではいられなかった。

薬や処置のみを行なうのではなく、痛みや心配を訴える患者の話に耳を傾け、それを分かち合おうとすることは簡単ではない。人を育てることに焦点を当てるJICA草の根技術協力事業にとってインド福祉村協会病院は宝箱であると感じました。



(スタッフ一同2008年正月)

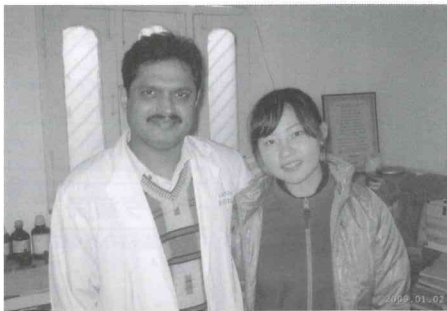


(小学校訪問)

ANANDA Hospitalを訪問して

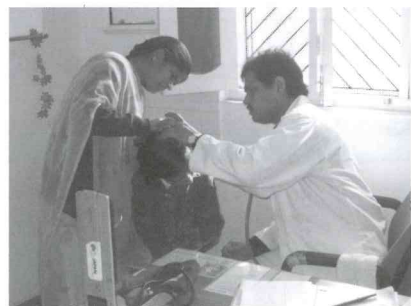
北海道大医学部 佐藤峰子

12月31日～1月2日の3日間、ANANDA病院を訪問させていただきました。ANANDA病院は畑に囲まれたかなりの田舎にありましたが、想像以上にしっかりとした病院でした。診察を見せていただきましたが、グプタ先生はしっかりとした問診に続き聴診や触診などきちんとした診察を行っており、その丁寧さには驚きました。また先生は見学している私に対しても患者さんひとりひとりの疾患について紙に図や字を書いて説明してくださいました。私はあまりにも医学知識と英語能力に乏しく、一生懸命教えてくださる先生には申し訳ないばかりでしたが、それでもめげずに指導してくださいさ感謝しました。遠くから何時間もかけて歩いてくる患者さんたくさんいるということからも、グプタ先生がいかに信頼されているかということが分かります。ニデイは本当に明るくて親切な良い奥さんです。私のおしゃべり相手になってくださり、お正月は私が体調を崩して腹痛でずっと寝ていましたが、何度も部屋に来て暖かいお湯の入ったペットボトルやビスケットを持ってきたりして、気遣ってくれました。くりくりお目で元気いっぱいのアークシユも遊び相手になってくれて、とても癒されました。そして幸運だったのは大竹理事様とちょうど訪問期間が同じだったことです。日本にいるときからお世話をしてくださり、本当に感謝しています。スタッフのみなさんもととてもやさしい方ばかりで、そんなみなさんの優しさに触れながら、3日間(ボランティアとは名ばかりで休ませていただくばかりでしたが)、貴重な体験をさせていただきました。今回はまだ無力な身で何もお役に立つ事ができなかったけれど、日本でしっかり学び次回訪問させていただく際には少しでもお役に立てたらと思います。短い間でしたが、本当にありがとうございました。



(グプタ医師とともに)

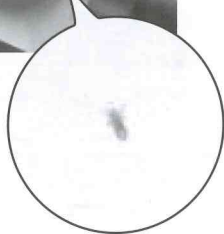
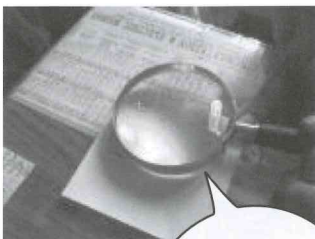
1月30日(金) 妊婦学校と頭シラミ薬配布



学校訪問の時に、頭シラミのいる子は病院に来るようになっています。薬は無料配布です。去年の十月から始め、最初は10人以下でしたが最近50人を超える日もあります。週1回金曜日が頭シラミの診療日です。

左の写真が虫眼鏡を通して撮ったシラミです。Drは三種類のシラミがいたと言って、見せてくれましたが、小さくて老眼では困難でした。

昔、真虫群…いえ進駐軍が学校に来てDDTを頭に振りかけられたことを思い出しました。今思えば、あれは進駐軍のボランティア的な衛生活動だったのでしょか。



2月13日(金)
政府設立の学校に1つ



(赤色のラインが入った校舎)



(緑色のラインが入った校舎)



この病院近辺に公立学校と私立学校の二種類があります。上の写真は今日行った公立学校です。壁に「赤」と「緑」のラインがありますが、公立学校である意味のようです。赤ラインは最近出来た物で、今後は緑から赤ラインに変更するとのことです。

公立学校は勉強も教えるが、主には「昼の給食」がメインのようです。賄い婦さんが作っていました。教室は5室と決まっているようです。スタッフの話では服(制服?)も支給し、給食も無料のようです。

この日も学校に行ったのですが、14時近くだったので、殆どの子が家に帰った後でした。妊婦学級と頭シラミの診察と薬配布が終わると学校に行くのですが、公立学校はもう少し早く行かないとダメですね。でも、熱心な学校は銅鑼を鳴らし、生徒を集めてくれるところもあります。ちなみに、私立学校は10時から15時30分頃まで、しっかり勉強するそうです。私立ですから、学費は50Rs/月、給食はなし、制服も自費だそうです。今思い返せば、私立の学校は、公立のように立派な校舎ではなかったですね。

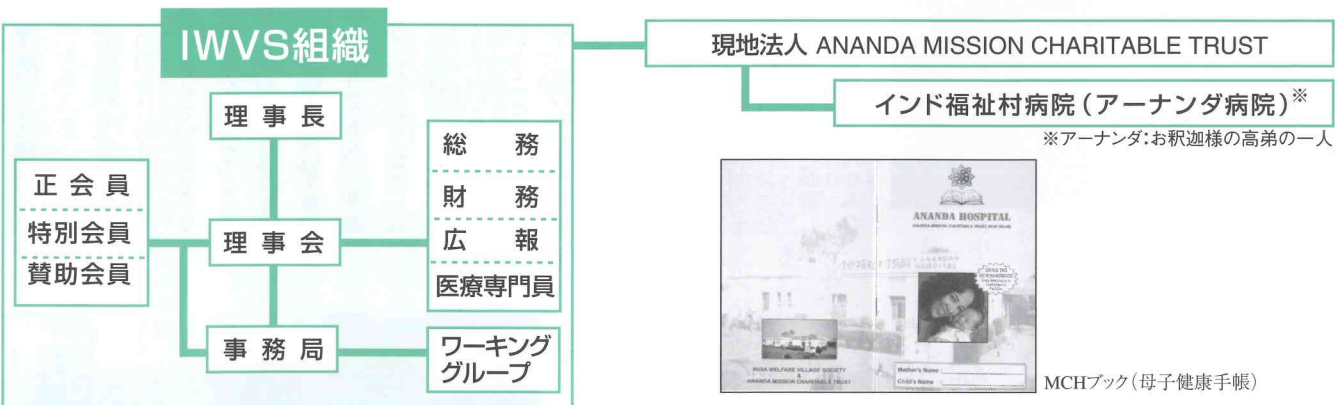
下の写真が私立学校です(今頃分かりました)。実に開放型の教室が多いです。財政上、これが限界。



認定特定非営利活動法人 (認定NPO)

インド福祉村協会

(IWVS)



入会のお願い

- 正会員**：年会費 5,000円 …… 総会の議決権があります。協会の会報を毎回お届けします。プロジェクトの進み具合、現地の情報を逐次お知らせします。現地宿泊の便宜を図ります。
- 特別会員**： 100,000円 (一口以上) 代表一名を正会員として登録します。その他正会員と同様。
- 賛助会員**：年会費 1,000円 (一口以上) 総会の議決権はありません。協会の会報をお届けします。

【会費・寄附の支払い方法】

郵便振替 郵便振替用紙を利用し、最寄りの郵便局より手続きを行う。
ご一報いただければ用紙をお送り致します。また、入金が確認されましたら領収書を送らせていただきます。寄附金は、税制上の優遇処置が受けられます。
郵便振込 (口座番号) 00830-2-65008 (加入者名) インド福祉村協会

募金のお願い!

少しでもあなたの善意を分けて下さい。